

平成 1 8年度第 2回法務委員会 (議事録)

日 時 平成 18 年 7 月 11(火) 1300 ~ 1700

場 所 操縦士協会事務局

出席者 千葉理事、熊坂、染谷、友田、佐藤、池内各委員

- 1 . 平成 18年度第 1回法務委員会議録確認
- 2 . 706 裁判のその後について
今年秋 (10 月)以降に公判の予定 委員会としての対応は？
委員長が傍聴予定 新たな起訴事実が無ければ第一回公判が結審になるか
- 3 . JA3435 事故について
行政処分免停 1 年をそのまま受け入れ、ケースクローズ。今後委員会に情報提供等協力をお願いし、現在時系列にまとめるよう依頼済み。
資料として必要な項目について意見聴取。18 日に取材予定
- 4 . JALJ2004.9 月発生の F2408 について
航空局技術部乗員課より事故調査報告書に対する質問書があり、回答後、行政処分はいまだ下されていない。引き続きモニターしていく
- 5 . 日乗連、全運輸主催シンポジウム参加報告 (福岡)
 - ・ 907 裁判について地裁判決、控訴審について意見交換が行われた。判例として取り上げられるには最高裁判断が必要。
 - ・ 今後の動向について引き続き他団体と情報交換をしながら、この問題に取り組んでいきたい。
- 6 . シンポジウムの開催計画について
 - ・ 「航空事故と刑事・民事裁判について」(仮題) 早急な開催を目指すのではなく、時間をおいて、計画し有意義なものを企画開催したい。
- 7 . 懸案事項について
小冊子「事故に遭遇したら」のコンパクト判発行 修正案を作成中
ビデオ作成 現在情報不足で作業が滞っている。